

令和3年4月25日 日曜 午後2時～  
於 船場川構井堰（手柄公民館横）

## 新構井堰運転開始セレモニー

令和3年4月25日 新構井堰の完成、運転開始のセレモニーが執り行われました。  
当井堰改修事業にご尽力いただいた県会議員 水田先生ご出席のもと、コロナ感染防止対応として関係者のみの  
少人数開催となりました。



当井堰改修事業は平成 26 年に「手柄・構地域近隣の水害防止治水事業」として県に要望し関係者のご支援、努力により足掛け 8 年の歳月を経て、今日完成したとのことです。



セレモニーは、井堰の完成を祝うとともに、当初の事業目的が達成され守護されるよう、井堰所在地の氏神様の生矢神社を参拝し「水害の無い地域安全、井堰操作員の安全」を祈願した後、井堰の運転を行いました。



当井堰はゴムバルン仕様で、井堰起伏スイッチが押されると、中に空気の充填が始まります。見る見るうちに起伏し、約 10 分程度で井堰が出来上がりました。

井堰の上流側には程無く水が溜まりだし、無事に貯水できることが確認されました。





溜まった水は農繁期に取水口を開口して近隣の用水路へ流し、稲作用水として利用されます。

その他、この水の流れは生態系保全、安らぎの恵みを与えてくれます。

また、新井堰は台風・豪雨時に河川水位が上昇した場合、自動倒伏して洪水の発生を防止する安全機能がついています。

旧井堰に比べ、地域の防災治水対策と操作員の安全確保において格段に向上していました。



最後に、起伏した井堰の下流側で出席者の記念撮影を行い、お開きとなりました。